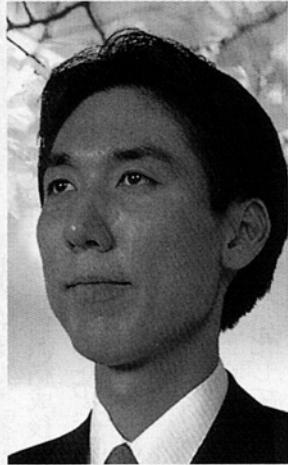


城内 実の視点！ 時代を考察する(10)

— 防衛利権問題と政界再編 —



前衆議院議員・拓殖大学客員教授 **城内 実**

可能性は低いと思うが、近い将来民主党の小沢グループが民主党を離脱し、自民党と合流し小沢代表が党首になっているかもしれないし、信念の政治家である平沼赳氏先生が、自民・民主大連立政権の首相になっていることだってあり得ない。かつて社会党の村山富市氏が首相になつた自社さ政権が実現したことだってあつたではないか。

あるいは、自民党も民主党も数年後にはなくなつており、政界再編が実現していることだつて、現在の小選挙区制の下では困難ではあるにしろ、全くありえない話ではない。

十一月四日の日曜日の午後、小沢代表が記者会見をして突然辞意を表明した。あの郵政解散総選挙以来、日本の政治に何が起きてもおかしくないと思っていたので、さほど驚かなかつた。現に九月には安倍晋三首相が突然辞任してしまつた。一年前に、あれだけ高い支持率を誇っていた安倍政権が一年後に閣僚の不祥事や年金問題、構造カイカク路線の行き詰まり等で国民の支持を失い、首相の座から降りるとは、多くのマスコミ関係者も予想だにしなかつたであろう。

もう一度冷静になつて考えてみようではないか。わずか二年前の郵政解散総選挙であれだけ圧勝した自民党が、参議院選挙でぼろ負けしたのはなぜなのだろうか。普通では考えられないことである。かつての自民党王国の宮崎県でのまんま東こと東国原氏が知事選で圧勝したのも偶然ではない。底流では国民の間に大きな政治不信が、特に政権与党に対しても渦巻いている。辞意表明の記者会見をした小沢代表が慰留され民主党代表として続投することとなつた。このどたばた劇で、防衛省の守屋前事務次官はじめとする例の防衛利権の事件が一時かすんでしまつた。

ところが、ここにきて山田洋行の宮崎元専務が業務上横領の疑いで逮捕され、この問題がまた大きくとりあげられるようになつた。

捜査のメスはバッヂをつけた防衛族まで及ぶのかどうか。これが一番の肝心な点である。ある情報筋によると、今回の事件はロッキード事件を上回るような大事件に発展する可能性があるとのこと。なにせ防衛予算は莫大であり、扱う金額ははんぱでないからである。

なぜ、守屋氏が業者とあれだけやりたい放題

ゴルフなどの遊興、三昧ができたのだろうか。そ

れは、バックに守屋氏を庇護してきた国議員
がいたからである。それが誰なのか。政権中枢
にいた閣僚級の人物であることは間違いない。

つい最近までライブドアの堀江社長や村上
ファンの村上氏だってやりたい放題やつてい
た。彼らのバックにも政権中枢の擁護者がいた
から暴利をむさぼることが出来たのである。前
者の防衛利権問題も後者の「カイカク利権」問
題も、まじめにひたいに汗してこつこつ働いて

いる国民を欺くような悪質な利権屋の所業とい
う点で、根本は同じである。

さて、十月の郵政民営化が実現してほどな
だきたい。

くして、旧社会党系のJPU（旧全通）と旧民
社党系の全郵政の二つの郵政関連労組が合併
して、JPU労組（日本郵政グループ労働組合）
が誕生した。JPUと全郵政は長い間、運動方
針の相違により、激しい闘争を繰り広げてき
た歴史がある（いわゆる「労々対立」）。それが、
今となつて一緒になるとは、本当に隔世の感が
ある。

また、長年自民党に対して党员として応援
(票とカネ)をしていたのが大樹の会を中心と
する特定郵便局関係者である。彼らの自民党に
対する党費納入が平成十七年には約十一万人
だったのが、平成十九年には約三千六百人に激
減、その多くが国民新党的職域支部に移った
(約二十万人)。一連の郵政民営化のプロセスで、
労組も特定局長会も連帯している。

今こそ郵政関係者は過去の労使対立、労々対
立といった恩讐や党派・イデオロギーを乗り越
えて、一糸乱れぬ団結でもって、地域共同体を
破壊し、日本本来の和の精神や、助け合いの精
神と全く相容れない、市場原理主義、構造カイ

カク路線、新自由主義路線と戦うときである。

一昨年の強引な郵政解散総選挙のゆれもどし
が来ている。国民も郵政民営化が郵政米営化で
あることに気がつきはじめている。防衛利権問
題をきっかけにして、政界が大きくゆれ、健全
な政党政治が復活することを願うばかりであ
る。総選挙後に政界再編があるかもしれない。

プロフィール

城内 実 (きうち みのる)

昭和四〇年 四月一九日生まれ

平成元年 東京大学教養学部国際関係論分科を卒

平成二年 在ドイツ日本大使館勤務

平成九年 天皇陛下、総理等のドイツ語通訳官

平成一四年 外務省を退官し、公募に応募

平成一五年 衆議院議員初当選(無所属)

平成一六年 党改革実行本部幹事

平成一七年 農林水産委員会委員、環境委員会委員、
郵政民営化特別委員会委員

平成一七年 第四十四回衆議院選挙にて七四八票差
で惜敗

平成一八年 拓殖大学客員教授

城内 実 ホームページアドレス

<http://www.m-kiuchi.com/>